

平成20年度局配分枠予算について

環 境 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

環境局では、「脱温暖化社会の構築」と「循環型社会の構築」の2つを施策の柱とし、平成20年度の予算編成を行った。

「脱温暖化社会の構築」においては、温室効果ガス排出量削減の目標年次である平成22年まで残り2年となる中で、運輸部門対策として、自動車から出る温室効果ガス全排出量の約7割を占める一般ドライバーへの排出量削減に重点を置いた施策を実施する。

また、「循環型社会の構築」においては、ごみ減量の上流対策（ごみの発生抑制、再利用など）に重点を置いた施策や、拠点回収事業など市民の自主的なごみの分別・リサイクルのための取組支援を着実に推進するとともに、これまで進ちょくが遅れていた事業系ごみ減量のための取組に着手する。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

ごみ処理施設見学会	1,200 千円
有料指定袋資源用10L袋の製造	109,000 千円

【肉付補正予算計上】

京(みやこ)のエコドライブ大作戦	11,000 千円
事業系ごみ減量, リサイクル促進普及啓発	18,000 千円

<充実事業>

【当初予算計上】

水質汚濁対策	全体事業費 94,065 千円 (うち充実分 6,288 千円)
リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収	全体事業費 40,600 千円 (うち充実分 1,600 千円)
廃食用油燃料化事業市民回収支援	全体事業費 39,000 千円 (うち充実分 3,100 千円)
コミュニティ回収	全体事業費 44,000 千円 (うち充実分 7,700 千円)